



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 三井金属鉱業株式会社 上場取引所 東
コード番号 5706 URL <https://www.mitsui-kinzoku.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 納 武士
問合せ先責任者 (役職名) コーポレート コミュニケーション部長 (氏名) 落合 健司 (TEL) 03-5437-8028
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月11日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)
(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	312,120	△8.8	4,659	△80.0	16,886	△50.4	8,142	△70.8
2023年3月期第2四半期	342,398	12.2	23,296	△34.8	34,015	△9.5	27,927	△10.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 15,783百万円(△58.5%) 2023年3月期第2四半期 38,073百万円(△19.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	142.49	—
2023年3月期第2四半期	488.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	630,434	269,019	41.4
2023年3月期	631,894	261,406	40.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 260,760百万円 2023年3月期 253,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	140.00	140.00
2024年3月期	—	70.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	630,000	△3.4	21,000	67.6	33,000	65.9	18,000	111.5	314.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	57,356,856株	2023年3月期	57,329,098株
2024年3月期2Q	191,904株	2023年3月期	191,675株
2024年3月期2Q	57,146,554株	2023年3月期2Q	57,125,108株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に係る行動制限の解除により、経済活動の正常化に向けた動きが進み、個人消費やインバウンド需要の回復、設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。

一方、米国経済は堅調に推移しているものの、ウクライナ情勢の長期化や米中関係の地政学的リスクの高まり、世界的な金融引締め等を背景に海外景気の減速による下振れが懸念される中、原材料価格やエネルギーコストの上昇、急激な為替相場の変動等の影響により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境としては、亜鉛及びロジウムの相場は下落基調で推移し、前年同期に比べ平均価格は下落しました。また、為替相場は前年同期に比べ円安が進行しました。

機能材料部門は、在庫調整の長期化を背景に電子部品需要の回復が遅れていることから、主要製品の販売量は減少しました。モビリティ部門は、半導体不足の緩和により自動車市場が回復していることから、排ガス浄化触媒や自動車用サイドドアラッチの販売量は増加しました。

当社グループは、パーパスを基軸とした全社ビジョン（2030年のありたい姿）である「マテリアルの知恵で“未来”に貢献する、事業創発カンパニー。」を実現するため、2022年を初年度とする3ヵ年の中期経営計画「22中計」をスタートさせております。

「22中計」の2年目となる2023年度も厳しい経営環境ではありますが、全社ビジョン実現に向けた戦略は変更せず、引き続き各部門において「経済的価値」と「社会的価値」を両立した統合思考経営を実践することで、持続的な企業価値向上の仕組みを構築し、成長し続けるための重点施策に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ302億円（8.8%）減少の3,121億円となりました。

営業利益は前年同期に比べ、円安の進行による好転要因があったものの、非鉄金属相場の変動に伴う在庫要因の影響に加え、機能材料部門の販売量の減少やエネルギーコスト上昇の影響等により、186億円（80.0%）減少の46億円となりました。

経常利益は前年同期に比べ、営業利益が186億円減少したこと、及び受取配当金が60億円増加したものの、為替差益が36億円減少したこと等により、171億円（50.4%）減少の168億円となりました。

特別損益においては、債務保証損失引当金繰入額25億円、固定資産除却損12億円等を計上しました。加えて、税金費用及び非支配株主に帰属する四半期純利益を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ197億円（70.8%）減少の81億円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 機能材料セグメント

当部門の売上高は前年同期に比べ、キャリア付極薄銅箔をはじめ主要製品の販売量が減少したこと等から、59億円（9.1%）減少の597億円となりました。

経常利益は前年同期に比べ、主要製品の販売量が減少したこと等から、49億円（40.2%）減少の73億円となりました。

② 金属セグメント

当部門の売上高は前年同期に比べ、円安が進行したものの、亜鉛のLME（ロンドン金属取引所）の平均価格が下落したこと等から、201億円（14.9%）減少の1,146億円となりました。

経常利益は前年同期に比べ、円安の影響や日韓共同製錬株式会社からの受取配当金66億円の増益要因があったものの、亜鉛のLME価格下落に伴う在庫要因の影響に加え、亜鉛製錬設備の大規模定期修繕工事やエネルギーコスト上昇の影響等により、60億円（45.2%）減少の73億円となりました。

③ モビリティセグメント

当部門の売上高は前年同期に比べ、排ガス浄化触媒や自動車用サイドドアラッチの販売量が増加したこと等から、35億円(3.2%)増加の1,126億円となりました。

経常利益は前年同期に比べ、主要製品の販売量が増加したものの、排ガス浄化触媒の主要原料であるロジウム等の貴金属価格下落や為替差益が減少した影響等により、36億円(49.0%)減少の38億円となりました。

④ その他の事業セグメント

当部門の売上高は前年同期に比べ、亜鉛のLME価格下落の影響等により、110億円(17.4%)減少の526億円となりました。

経常利益は前年同期に比べ、製品の販売価格が改善したこと等により、5億円(239.0%)増加の8億円となりました。

主要な品目等の生産実績の当連結会計年度の推移は、次のとおりであります。

セグメント	品目	単位		第1	第2	第3	第4	累計
				四半期	四半期	四半期	四半期	
機能材料	銅箔	生産量	千t	3	4	—	—	8
	亜鉛	生産量	千t	44	59	—	—	103
金属	鉛	生産量	千t	15	17	—	—	33
モビリティ	自動車部品	生産金額	億円	199	213	—	—	413

* 亜鉛：共同製錬については当社シェア分

(2) 財政状態に関する説明

〔資産、負債及び純資産の状況〕

資産合計は、受取手形、売掛金及び契約資産60億円、現金及び預金35億円等の増加があったものの、流動資産のその他59億円等の減少により、前連結会計年度末に比べ14億円減少の6,304億円となりました。

負債合計は、固定負債の引当金28億円等の増加があったものの、長・短借入金及びコマーシャル・ペーパー残高129億円等の減少により、前連結会計年度末に比べ90億円減少の3,614億円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益81億円、為替換算調整勘定76億円等の増加に加え、剰余金の配当79億円、繰延ヘッジ損益14億円の減少等があり、前連結会計年度末に比べ76億円増加の2,690億円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.3ポイント上昇の41.4%となりました。

〔キャッシュ・フローの状況〕

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益113億円、減価償却費169億円、棚卸資産の減少108億円等の増加要因に対し、仕入債務の減少73億円等の減少要因を差し引いた結果、前年同期に比べ281億円収入増加の426億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出143億円等の減少要因を差し引いた結果、前年同期に比べ42億円支出増加の169億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長・短借入金及びコマーシャル・ペーパーの減少150億円及び配当金の支払額79億円等から、前年同期に比べ218億円支出増加の236億円の支出となりました。

以上の結果、為替換算差額を含めた現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ6億円減少の303億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期(2023年4月1日～2024年3月31日)の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績及び事業環境等の変動要因を勘案の上、見直しております。

(金額：百万円)

		2024年3月 通期 (今回予想)	2024年3月 通期 (前回予想)	増減	増減率 (%)
売上高	機能材料	125,000	127,000	△2,000	△1.6
	金属	245,000	243,000	2,000	0.8
	モビリティ	205,000	190,000	15,000	7.9
	その他の事業	114,000	117,000	△3,000	△2.6
	消去又は全社	△59,000	△72,000	13,000	—
	合計	630,000	605,000	25,000	4.1
営業利益		21,000	11,000	10,000	90.9
経常利益	機能材料	15,000	13,500	1,500	11.1
	金属	14,000	9,000	5,000	55.6
	モビリティ	8,000	5,000	3,000	60.0
	その他の事業	2,300	1,800	500	27.8
	消去又は全社	△6,300	△9,300	3,000	—
	合計	33,000	20,000	13,000	65.0
親会社株主に帰属する当期純利益		18,000	9,500	8,500	89.5

	4～9月 上期実績	10～3月 下期見込	今回予想 年間見込	(参考) 前回予想 上期見込	(参考) 前回予想 下期見込	(参考) 前回予想 年間見込
為替(円/US\$)	141	145	143	139	140	139
亜鉛LME(\$/t)	2,484	2,400	2,442	2,470	2,400	2,435
鉛LME(\$/t)	2,144	2,100	2,122	2,109	2,100	2,105
銅LME(¢/lb)	382	380	381	377	370	374
銅LME(\$/t)	8,417	8,378	8,397	8,318	8,157	8,237
インジウム(\$/kg)	219	245	232	193	200	197
パラジウム(\$/oz)	1,350	1,300	1,325	1,374	1,300	1,337
ロジウム(\$/oz)	5,573	4,000	4,786	5,519	4,000	4,760

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社及び国内連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,817	30,321
受取手形、売掛金及び契約資産	110,959	117,049
商品及び製品	62,056	56,590
仕掛品	39,276	41,328
原材料及び貯蔵品	74,918	71,669
その他	33,286	27,288
貸倒引当金	△149	△177
流動資産合計	347,165	344,071
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	208,770	215,295
減価償却累計額	△143,401	△148,001
建物及び構築物（純額）	65,369	67,294
機械装置及び運搬具	513,103	526,936
減価償却累計額	△435,515	△450,160
機械装置及び運搬具（純額）	77,588	76,775
鉱業用地	371	378
減価償却累計額	△290	△298
鉱業用地（純額）	81	80
土地	31,424	31,684
建設仮勘定	11,290	9,655
その他	68,723	71,625
減価償却累計額	△56,719	△59,579
その他（純額）	12,003	12,045
有形固定資産合計	197,758	197,536
無形固定資産	8,772	8,448
投資その他の資産		
投資有価証券	61,864	62,963
長期貸付金	405	401
退職給付に係る資産	7,631	8,035
繰延税金資産	5,752	6,121
その他	2,642	2,947
貸倒引当金	△98	△92
投資その他の資産合計	78,197	80,377
固定資産合計	284,728	286,362
資産合計	631,894	630,434

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,208	55,758
短期借入金	65,206	74,739
コマーシャル・ペーパー	18,000	3,500
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	1,787	2,002
引当金	6,827	7,010
その他	40,766	39,845
流動負債合計	198,795	192,856
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	86,043	78,057
繰延税金負債	8,034	9,255
引当金	2,505	5,319
退職給付に係る負債	28,394	29,056
資産除去債務	3,726	3,738
その他	2,987	3,131
固定負債合計	171,691	168,558
負債合計	370,487	361,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,178	42,223
資本剰余金	18,729	18,774
利益剰余金	183,080	183,223
自己株式	△628	△629
株主資本合計	243,360	243,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,362	4,354
繰延ヘッジ損益	△4,098	△5,540
為替換算調整勘定	10,682	18,308
退職給付に係る調整累計額	64	45
その他の包括利益累計額合計	10,010	17,167
非支配株主持分	8,035	8,259
純資産合計	261,406	269,019
負債純資産合計	631,894	630,434

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	342,398	312,120
売上原価	286,515	273,894
売上総利益	55,882	38,225
販売費及び一般管理費	32,586	33,566
営業利益	23,296	4,659
営業外収益		
受取利息	79	147
受取配当金	1,196	7,217
不動産賃貸料	253	249
為替差益	6,742	3,132
持分法による投資利益	3,552	1,966
その他	673	1,380
営業外収益合計	12,498	14,093
営業外費用		
支払利息	1,122	1,289
その他	655	576
営業外費用合計	1,778	1,866
経常利益	34,015	16,886
特別利益		
固定資産売却益	41	48
関係会社清算益	71	-
その他	59	8
特別利益合計	172	56
特別損失		
固定資産売却損	94	51
固定資産除却損	523	1,228
関係会社株式評価損	-	987
債務保証損失引当金繰入額	-	2,505
その他	165	781
特別損失合計	783	5,553
税金等調整前四半期純利益	33,404	11,388
法人税、住民税及び事業税	5,066	2,348
法人税等調整額	683	701
法人税等合計	5,750	3,049
四半期純利益	27,654	8,339
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△273	196
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,927	8,142

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	27,654	8,339
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	372	935
繰延ヘッジ損益	533	△754
為替換算調整勘定	8,633	7,934
退職給付に係る調整額	△405	△18
持分法適用会社に対する持分相当額	1,284	△651
その他の包括利益合計	10,419	7,444
四半期包括利益	38,073	15,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,080	15,299
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	483

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	33,404	11,388
減価償却費	16,320	16,900
関係会社株式評価損	-	987
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	40	14
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	-	2,505
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	388	589
受取利息及び受取配当金	△1,276	△7,365
支払利息	1,122	1,289
為替差損益 (△は益)	△906	△562
投資有価証券売却損益 (△は益)	△25	14
持分法による投資損益 (△は益)	△3,552	△1,966
固定資産売却損益 (△は益)	53	2
固定資産除却損	523	1,228
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	1,603	△1,472
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△17,880	10,850
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,259	△7,355
その他	1,959	9,312
小計	20,518	36,362
利息及び配当金の受取額	1,273	7,366
持分法適用会社からの配当金の受取額	1,125	802
利息の支払額	△1,124	△1,310
法人税等の支払額	△7,700	△5,478
法人税等の還付額	245	4,775
その他	201	124
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,539	42,643
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,445	△14,355
有形固定資産の売却による収入	196	153
無形固定資産の取得による支出	△820	△928
固定資産の除却による支出	△387	△977
投資有価証券の取得による支出	△141	△440
投資有価証券の売却による収入	35	36
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△217	△30
その他	67	△433
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,714	△16,974

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,573	△2,578
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	5,000	△14,500
長期借入れによる収入	7,910	5,000
長期借入金の返済による支出	△9,166	△2,927
リース債務の返済による支出	△332	△368
配当金の支払額	△6,283	△7,999
非支配株主への配当金の支払額	△473	△259
その他	2	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,768	△23,637
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,296	1,469
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,352	3,500
現金及び現金同等物の期首残高	29,614	26,816
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,966	30,316

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能材料	金属	モビリティ	その他の 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	61,961	107,763	107,603	51,082	328,412	13,986	342,398
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,735	27,060	1,548	12,597	44,941	△44,941	—
計	65,697	134,823	109,152	63,679	373,353	△30,955	342,398
セグメント利益	12,357	13,332	7,536	237	33,463	551	34,015

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、主に在外子会社の売上高の本邦通貨への換算処理における差額(予算作成時において想定した為替相場と期中平均為替相場との差)であります。セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,455百万円、棚卸資産の調整額873百万円、在外子会社等の収益及び費用の本邦通貨への換算処理における差額830百万円、為替差益2,061百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能材料	金属	モビリティ	その他の 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	56,920	99,569	111,412	38,705	306,608	5,511	312,120
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,825	15,098	1,270	13,907	33,101	△33,101	—
計	59,746	114,668	112,682	52,613	339,710	△27,590	312,120
セグメント利益	7,394	7,310	3,840	806	19,351	△2,465	16,886

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、主に在外子会社の売上高の本邦通貨への換算処理における差額(予算作成時において想定した為替相場と期中平均為替相場との差)であります。セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,863百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。